

優良な健康経営を実践する企業として 「健康経営優良法人 2022 (大規模法人部門(ホワイト 500))」認定取得



大分キャノンマテリアル株式会社は、経済産業省と日本健康会議が共同で実施する「健康経営優良法人 2022(大規模法人部門(ホワイト 500))」に選定されました。「健康経営優良法人」は、地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している法人を顕彰する制度です。

大分キャノンマテリアル株式会社の健康管理に対する取り組み

キャノン創業期から受け継がれている「健康第一主義」、自発・自治・自覚の「三自の精神」のもと、社員の活力向上、生産性向上など組織の活性化に取り組み、業績向上、利益創出につなげるため、社員、健康推進員(各課に1名ずつ選任)、労働組合、人事、経営層、産業保健スタッフが一体となって健康経営を実践しています。

社員の平均年齢の上昇に伴い、BMI や腹囲の異常、血圧・血糖高値などのメタボ該当者・メタボ予備群が増加していますが、要精密検査・要受診者などのハイリスク者については受診勧奨・受診追跡、就業上の配慮を徹底し、重症化予防に努めています。また、キャノン健康保険組合と共同で、外部事業者による40歳以上への特定保健指導の実施だけでなく、早めのアプローチとして30代のメタボ予備軍にも積極的に保健指導を実施しています。

メンタルヘルス対策では人事部門と連携して年齢や職責に応じた教育を展開し、職場、人事、健康支援室の連携がより強化され、メンタルヘルス不調者の早期発見や迅速な対応につながっています。

がん対策では行動経済学の「ナッジ理論」の手法を使った取り組みや健康推進員と連携した出張教育・出張予約会によりがん検診の受診率が毎年向上しています。

今後は経営層・産業保健スタッフ・労働組合・健保組合が協働して、近年の健康課題である運動習慣の改善、喫煙率抑制に向けた施策に力を入れて取り組んでまいります。

*「健康経営」は NPO 法人健康経営研究会の登録商標です。